都電荒川線

特定事業進捗管理シート（平成２８年度）　　町屋駅・区役所周辺地区

担当部署	東京都交通局建設工務部計画改良課（関連部署：建設工務部保線課、電車部営業課、電車部運転課）
取組方針（目的）	・交通局は、すべての人にやさしい交通機関となるよう、「バリアフリー法」や「東京都福祉のまちづくり条例」などを踏まえて、バリアフリー化に取り組んでいます。 （1）停留場ホームのかさ上げ・スロープの整備 電車の床面とホームとの段差を小さくするため、ホームのかさ上げを行うとともに、スロープを整備しています。 （2）都電荒川線停留場の安全対策（固定式ホーム柵の設置） 停留場からの転落事故を防止し、お客様により安全に都電荒川線をご利用いただけるよう、設置可能な全ての停留場に固定式ホーム柵を設置します。 （3）車いすスペースの設置 車内に車いす使用の方のためのスペースを設置しています。 （4）都電荒川線車両の更新（７０００形車両の置き換え） 更新時期を迎えた７０００形車両について、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインにするとともに、省エネルギーに配慮した車両に更新します。 （5）高齢者・障がい者等への適切な対応について、研修などを通じて乗務員の接遇向上に努めています。 （6）昨年度７ 月より、荒川電車営業所において、「ヘルプマーク」の配布を開始すると共に、車内にポスター及びステッカーを掲示し、普及啓発を実施しています。

※評価値　凡例

A:　100%（実績進捗率）
B:　70～90%
C:　50～70%
D:　50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都電荒川線 町屋駅前　ホーム	①ホームの拡幅は、将来の道路拡幅時に検討します。			■	未定	0%	未着手	D
都電荒川線 町屋駅前　案内・情報	②ホーム上の乗り換え案内は、既存のものをより分かりやすいものに改善します。	■			平成 26 年度完了	100%	ホーム上に千代田線、京成線それぞれの乗換案内用の略地図を掲出	A
都電荒川線 町屋駅前　車両	③8500 型車両は構造上改良が困難なため、引き続き車いす利用者の乗降時は、運転手が必要に応じて車内に装備しているスロープ板で対応します。	■	■	■	装備済（8500 スロープ板）	100%	車いすご利用者の乗降時、必要に応じて乗務員が車内に装備しているスロープ板で対応しております。	A
荒川七丁目 都電荒川線　ホーム	①ホームに設置しているスロープの手すりは、延長を検討の上で実施に向け取り組みます。	■			平成 23 年度完了	100%	設置済	A

荒川七丁目 都電荒川線　案内・情報	②停留場に設置している案内板より詳しい周辺施設情報を表示します。				平成 26 年度完了	100%	他停留所と共通の仕様で整理したものであるが、今後、案内板の更新がある際、お客様や区民等の要望も踏まえ内容を検討	A
荒川七丁目 都電荒川線　案内・情報	③視覚障害者用の案内表示設置を検討の上で実施に向け取り組みます。				未定	-	自動音声案内や乗務員による放送案内を実施しているが、案内表示については、お客様、区民等の要望も踏まえ、内容を検討	-

今後の取組方針

上記の内容について、道路事業に合わせたホームの拡幅や、案内・情報設備の改良について、次年度以降も継続的に検討してまいります。
都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様に安全でより良いサービスを提供することを目指してまいります。

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績 (進捗率)	取組状況	評価値
三ノ輪橋駅（都電荒川線）トイレ	１－①多目的トイレが設置済の近接する公園への経路のサインを荒川区と協議しながら検討を進めます。				平成２７年度完了	100%	設置済み	A
三ノ輪橋駅（都電荒川線）駅前広場	２－①用地の関係で柵の設置が困難なため、段差についての注意を促すため、降車ホームの架線柱にサインの設置を検討します。				平成 26 年度完了	100%	ホーム床に段差についての注意喚起のサインを設置	A

今後の取組方針

上記の内容について、荒川区とも協議しながら、サインの設置等に向けて、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。
都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様により良いサービスを提供することを目指してまいります。

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　熊野前駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
熊野前駅（都電荒川線）	１－①今後の道路の改良等にあわせ、より安全な施設となるよう道路管理者と検討していきます。			■	未定	０％	未着手	D
宮ノ前駅（都電荒川線）	２－①点字ブロックの破損箇所について、現状を把握し適切に対応します。	■			随時完了	１００％	損傷時に速やかに補修	A
宮ノ前駅（都電荒川線）	２－②ホーム上の看板の張出部分について、現状を把握し適切に対応します。	■			対応困難	-	現状を確認したところ、看板の張出は設置上やむを得ない範囲であり対応は困難	-
宮ノ前駅（都電荒川線）	２－③今後の道路の改良等にあわせ、より安全な施設となるよう道路管理者と検討していきます。			■	未定	０％	未着手	D
東尾久三丁目駅（都電荒川線）	３－①今後の道路の改良等にあわせ、より安全な施設となるよう道路管理者と検討していきます。			■	未定	０％	未着手	D

今後の取組方針

上記の内容について、道路の改良等にあわせながら、次年度以降も継続的に検討を続けてまいります。
都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様に安全でより良いサービスを提供することを目指してまいります。

日暮里・舎人ライナー

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

担当部署	東京都交通局建設工務部計画改良課（関連部署：建設工務部建築課、電車部営業課）
取組方針（目的）	・交通局は、すべての人にやさしい交通機関となるよう、「バリアフリー法」や「東京都福祉のまちづくり条例」などを踏まえて、バリアフリー化に取り組んでいます。 （１）全駅に「地上と改札階」、「改札階とホーム階」を結ぶエレベーター及びエスカレーターを設置しています。 （２）全駅に「だれでもトイレ」を設置しています。体の不自由な方や乳幼児をお連れの方などが利用しやすいよう、スペースを広く取り、手すり、ベビーシート、オストメイト水洗装置などを備えています。 （３）お客様の転落や列車との接触事故を防止するため、全駅にホームドアを設置しています。 （４）目の不自由なお客様のための点字ブロックを全駅に設置しています。 （５）高齢者、障がい者等への適切な対応について、研修などを通じて駅係員の接遇向上に努めています。 （６）昨年度 ７ 月より、日暮里駅、西日暮里駅において、「ヘルプマーク」の配布を開始すると共に、駅構内や車内等にポスター及びステッカーを掲示し、普及啓発を実施しています。

※評価値　凡例

A:　100％（実績進捗率）
B:　70～90％
C:　50～70％
D:　50％以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
日暮里駅（日暮里・舎人ライナー）多機能トイレ	１－①今後、自動洗浄センサーの設置位置について検討し、利用しやすい環境を目指します。		■	■	平成 30 年度	0％	改修方法の検討中	D
日暮里駅（日暮里・舎人ライナー）券売機	２－①光の入り具合によって画面が見にくい状況に対し、券売機メーカーと検討します。	■			対応困難	-	券売機メーカーと検討を行ってきたが対応は困難	-
日暮里駅（日暮里・舎人ライナー）公衆電話	３－①お金が入れにくい。カードも使えない状況に対し、公衆電話の変更をＮＴＴと検討します。	■			未定	-	公衆電話変更について NTT と引き続き検討中	-
西日暮里駅（日暮里・舎人ライナー）案内サイン	１－①ＪＲ西日暮里から乗り換え間の分かりやすい表示について、今後関係機関と検討します。			■	未定	-	分かりやすい表示について引き続き検討中	-

今後の取組方針

上記の内容について、より利用しやすい駅とするため、トイレや案内サインなどの向上に向けて、継続的に検討を進めていきます。
都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様により良いサービスを提供することを目指してまいります。

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　熊野前駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）通路	１－①分岐点において手すりに点字を貼り付け行き先を提示します。	▬			平成 26 年度完了	100%	改札、南口出口、尾久小口出口を案内する点字サインを分岐点の手すりに設置	A
熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）階段	２－①階段の段鼻に明度差をつけ、視認性の向上を図ります。	▬			平成 28 年度完了	１００%	南口階段、尾久小口階段の段鼻を視認性向上のために塗装	A

今後の取組方針
上記の内容について、階段の視認性向上等に向け、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。 都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様により良いサービスを提供することを目指してまいります。

東京メトロ・千代田線

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　町屋駅・区役所周辺地区

担当部署	東京地下鉄株式会社　鉄道統括部計画課
取組方針（目的）	町屋駅利用の安全性及び移動性・バリアフリー設備の向上を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
東京メトロ千代田線 町屋駅 B3 階ホーム	①小判型の点字ブロックの改修は、現時点では、詳細な整備時期は未定ですが、駅改良時に併せて改修を検討します。			▬	未定	０%	方針検討中	D
東京メトロ千代田線 町屋駅 B1 階トイレ	②車いす用トイレの扉が重く開けにくいため調整します。			▬	未定	０%	車いす用トイレの扉（重くて開けにくい）の改良は、現時点では、詳細な設備時期は未定ですが、トイレ改良時に合わせて改修を検討いたします。	D
東京メトロ千代田線 町屋駅 B1 階トイレ	③トイレの音声案内は、トイレ改良時に設置します。	▬			平成２５年度完了	１００%		A
東京メトロ千代田線 町屋駅　案内・情報	④エレベーターの乗換案内については、エレベーター内からも見やすい位置を検討の上、乗換案内サインを設置します。		▬		平成３２年度完成予定	０%	サインの更新時に合わせて検討・実施する。	D
東京メトロ千代田線 町屋駅　その他	⑤点字ブロックの横にある案内ラックについては、場所を検討の上、移設します。	▬			平成２６年度完了	１００%	移設完了	A

今後の取組方針

・取組方針を踏まえ、次年度以降も検討・を進めていく。

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

担当部署	東京地下鉄株式会社　鉄道統括部計画課	
取組方針（目的）	西日暮里駅利用の安全性及び移動性・バリアフリー設備の向上を推進する。	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
東京メトロ千代田線西日暮里駅　トイレ	１－①現状では、おむつ替え、ベビーキープのスペースがないため、トイレ改良時にスペースを創出し設置します。	■			平成２４年度完了	１００%	実施済み	A
東京メトロ千代田線西日暮里駅　階段	２－①誘導ブロック改良時に階段の手すりに沿って誘導ブロックを設置します。	■			平成２４年度完了	１００%	実施済み	A
東京メトロ千代田線西日暮里駅　案内サイン	３－①お客様や駅社員の声を反映した新たなサインを追加し、分かり易い案内ができるよう来年度実施に向けて計画しています。	■			平成２６年度完了	１００%	実施済み	A

今後の取組方針

・次年度以降もバリアフリー新規施策等の検討を進めていく。

東京メトロ・日比谷線

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

担当部署	東京地下鉄株式会社　鉄道統括部計画課
取組方針（目的）	南千住駅利用の安全性及び移動性・バリアフリー設備の向上を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
南千住駅（東京メトロ日比谷線）案内	１－①案内・サインの改良については、全線に関わることから今後の検討課題として取り組みます。また、構内の案内誘導においては、駅係員による人的支援を強化します。				継続中	１００％	継続中	A
南千住駅（東京メトロ日比谷線）トイレ	２－①多機能トイレに関する国交省のマナー啓発パンフレットを駅構内のラックに設置しています。今後も継続して周知を行い、ご利用されるお客様にご理解とご協力をいただけるよう努めて参ります。				継続中	１００％	継続中	A
南千住駅（東京メトロ日比谷線）エレベーター・エスカレーター	３－①既存施設の利用が困難な場合は、駅係員にお申し付け下さい。今後も駅係員によるサービス向上を図って参ります。				継続中	１００％	継続中	A

今後の取組方針

・次年度以降も継続した取組を実施する。

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

JR 東日本　山手線・京浜東北線

担当部署	東日本旅客鉄道株式会社　東京支社総務部企画室
取組方針（目的）	日暮里駅利用の安全性及び移動性の向上を推進する。

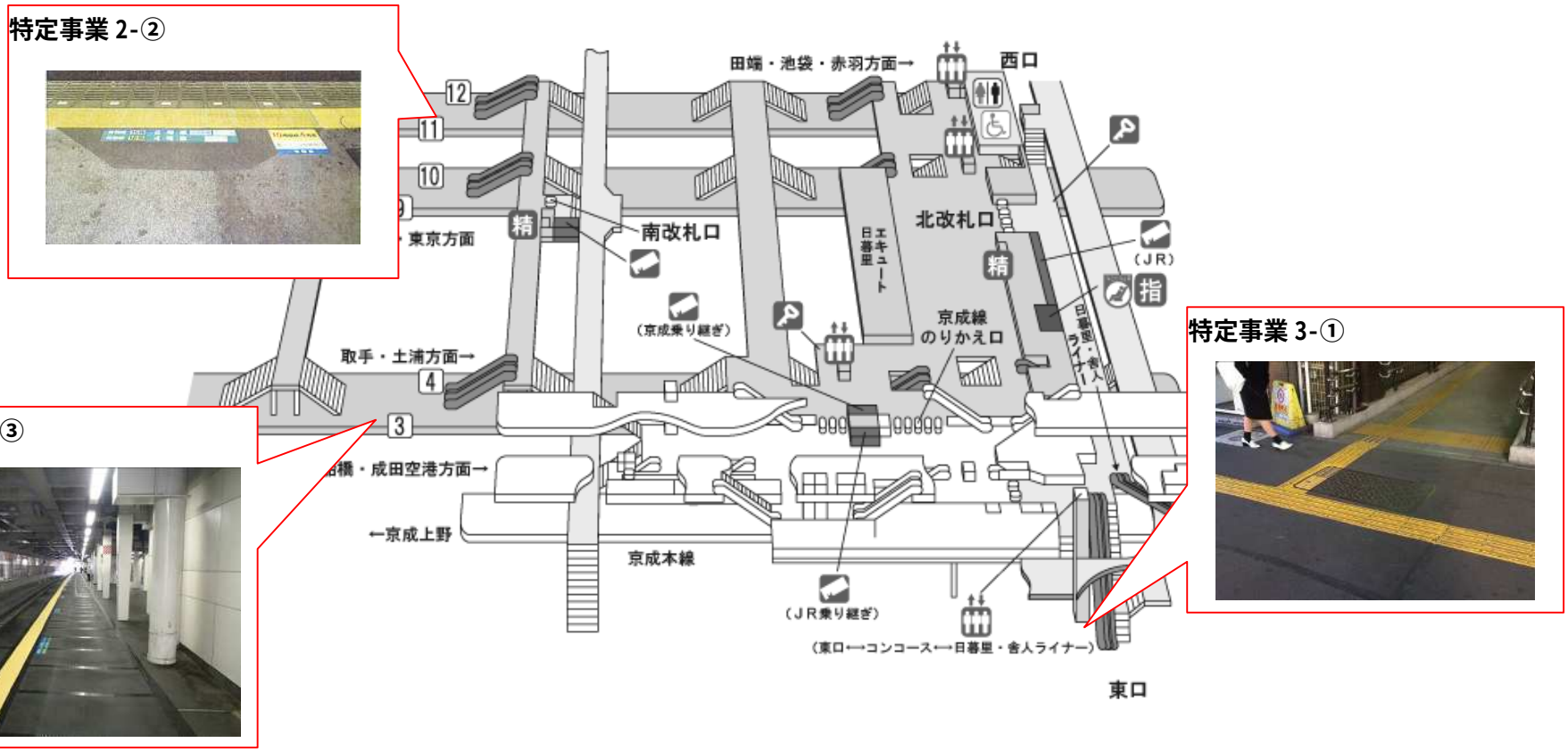
※評価値　凡例
A:　100％（実績進捗率）　C:50～70％
B:　70～90％　D:50％以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）駅入口	１－①北口の出入り口について、下御隠殿橋との階段部及び谷中側の階段部について、今後、課題改善に向けて荒川区と協議しながら検討を進めます。				未定	40％程度	設計中	D
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）駅入口	１－②南口の紅葉橋との接続部の段差は、今後橋梁の架け替えを含め、課題改善に向けて荒川区と協議しながら検討を進めます。				未定	30％程度	協議中	D
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）ホーム	２－①山手線ホームドアの設置に向け検討を進めます。				平成 27 年度完了	100％	整備済み	A
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）ホーム	２－②JR ホーム内方線の設置に向け検討を進めます。				平成 25 年度完了	100％	整備済み	A
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）ホーム	２－③常磐線ホームの拡幅に向け検討しています。				平成 25 年度完了	100％	実施済み	A
JR 日暮里駅（山手線、京浜東北線、常磐線）駅前通路	３－①マンホールが点字ブロックを邪魔している箇所について、点字ブロック設置にむけ、検討を進めます。				平成 25 年度完了	100％	実施済み	A
西日暮里駅（山手線、京浜東北線）ホーム	１－①山手線ホームドアの設置に向け検討を行います。				平成 26 年度完了	100％	整備済み	A

西日暮里駅 （山手線、京浜東北線）ホーム	１－②ＪＲホーム内方線の設置に向け検討を進めます。	[redacted]			平成２４年度完了	１００％	整備済み	A
今後の取組方針								
・今後の日暮里駅改修計画と合わせ、引き続き検討を行う。								

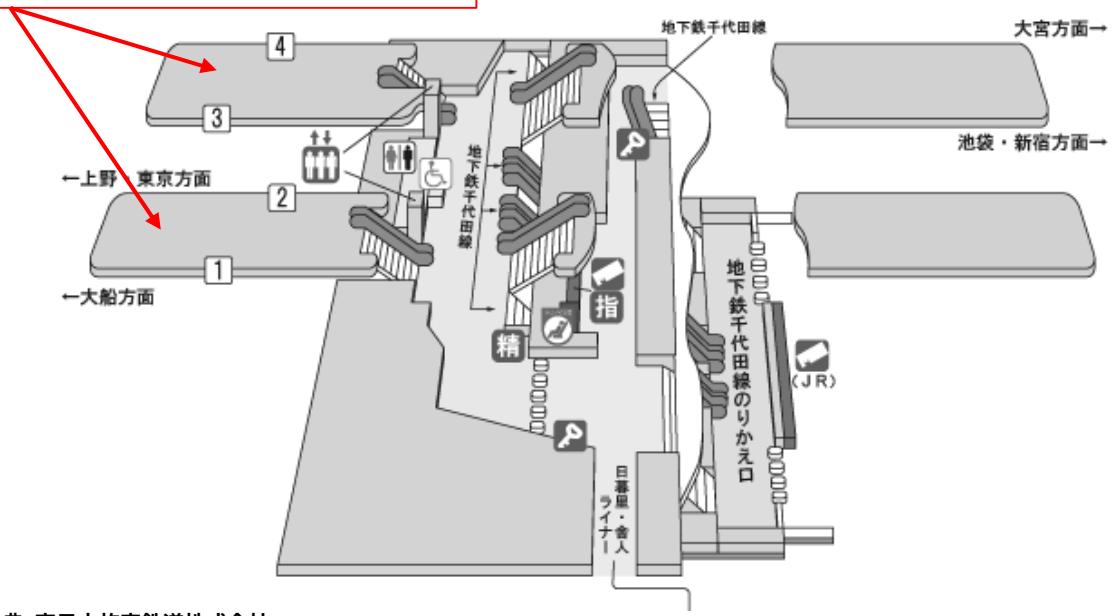
日暮里駅・構内図



出典：東日本旅客鉄道株式会社

西日暮里駅・構内図

特定事業 1-①②



出典：東日本旅客鉄道株式会社

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

JR 東日本　南千住駅

担当部署	東日本旅客鉄道株式会社　東京支社総務部企画室
取組方針（目的）	南千住駅利用の安全性向上を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

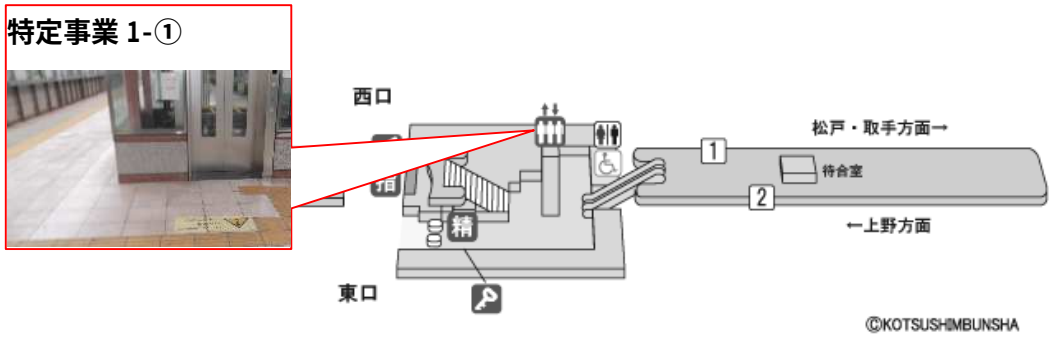
取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
南千住駅（常磐線）案内（トイレ・注意書き等）	１－①今後の駅全体のサイン改修時にわかりやすいサインの設置を検討します。また、乗務員・駅係員による人的支援による対応を強化しておりますので、誘導など駅係員にお申し付けください。				継続	-	・ホーム上に傾斜サインを設置 ・駅サイン改修時に検討 ・駅社員案内強化の継続実施	—
南千住駅（常磐線）エレベーター	２－①駅の構造上の制約などからエレベーターの増設は困難ですが、将来の大規模駅改修を行う際に施設整備を検討します。				未定	-	TX 開業に合わせ、駅改修を行っており、現在、新たな改修計画なし	—

今後の取組方針

・将来の大規模駅改修を行う際に、ご意見を参考に検討を行う。
・駅全体のサイン改修を行う際に、旅客動線の確認を行い、ご意見を参考に検討を行う。

南千住駅・構内図



特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　町屋駅・区役所周辺地区

京成電鉄　町屋駅

担当部署	京成電鉄株式会社　計画管理部計画担当
取組方針（目的）	京成町屋駅利用の安全性及び移動性の向上を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
京成町屋駅階段	①ホーム上の階段、改札口・出口向けの点字欠損箇所を補修します。	■			平成２６年度完了	１００%	平成２７年３月１８日に、新しい点字シートへの張り替えが完了しました。（写真①）	A

今後の取組方針

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

京成電鉄　日暮里駅・新三河島駅

担当部署	京成電鉄株式会社　計画管理部計画担当
取組方針（目的）	京成日暮里駅、新三河島駅利用の安全性及び移動性の向上を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
日暮里駅（京成本線） トイレ（南改札口）	１－①貼り紙などにより、利用者に対してトイレベッド収納へのご協力を求めていきます。	■			継続	-	貼り紙によりベビーシートの収納をお願いしており、今後も継続してご協力を求めていきます。（写真②）	-

日暮里駅（京成本線） 誘導ブロック	２－①誘導ブロックを阻害する広告看板類は直ちに移動するとともに、構内店舗等に対しても看板の設置場所に配慮するよう指導します。				継続	-	誘導ブロックを阻害する広告看板類は移動しております。今後も継続して指導していきます。(写真③)	-
日暮里駅（京成本線） 誘導ブロック	２－②警告ブロックと誘導ブロックの使い分けが誤っている場所などについては、早期に改善します。				平成２４年度完了	１００%	平成２４年度工事完了（写真④）	A
日暮里駅（京成本線） 案内サイン	３－①2F コンコースには、柱や昇降機など遠方からの視界を妨げる障害物が多く、サイン類の設置スペースが限られております。またコンコースは出口・ホーム・JR 線連絡口など、ご案内すべき情報も多いことから、一部サイン看板内の情報量が多い箇所もあるため、駅係員による案内を強化します。				継続	-	今後も継続して分かりやすい案内に努めていきます。	-
日暮里駅（京成本線） 案内サイン	３－②LED による行先案内表示を始めとするホーム上の他の看板類は、階段・エレベーター・エスカレーターならびに列車停止位置、その他支障物等の位置を勘案し、お客様の利便性を確保しつつ、ホーム係員・乗務員による安全確認の支障とならない場所に設置しており、日暮里駅一般電車ホームについては LED による行先案内表示器を前後２箇所に設置しています。なお、混雑時には駅係員による案内放送も充実していきます。				継続	-	今後も継続して分かりやすい案内に努めていきます。	-
日暮里駅（京成本線） 休憩室	４－①休憩室内に車いすスペースを設けるなどの可否を検討いたします。				継続	-	今後も改修時には設置の可否を検討していきます。	-

日暮里駅（京成本線） エスカレーター	５－①１階上りホームからＪＲ乗り換えの際に特定の経路に集中しないよう、アナウンスなどによって誘導することを検討します。				継続	-	今後も継続して分かりやすい案内に努めていきます。	-
日暮里駅（京成本線）その他	６－①このたびの震災後の節電対応でも、当社としてはバリアフリールートの確保には優先して努めてきました。今後も今回の経験を踏まえ、エスカレーターの運用面など、改善すべき点を検討していきます。				継続	-	今後も継続して検討していきます。	-
新三河島駅（京成本線）ホーム	１－①構造上の制約から通路の拡幅が困難なため、電車をお待ちの際は、階段付近を避けるよう、掲示物やアナウンスなどによる案内に努めます。				継続	-	今後も継続して分かりやすい案内に努めていきます。（写真⑤）	-
新三河島駅（京成本線）階段	２－①一部階段の幅と警告ブロックの幅が一致していませんが、階段手擦り内の幅は確保していますので、当面現状で対応することとし、今後の検討課題とします。				平成２３年度完了	１００％	平成２３年度に改修を行いました。（写真⑥）	A
新三河島駅（京成本線）改札口	３－①現在、車いすのお客様には有人の改札通路を御利用いただいています。幅広型の自動改札機については、改修計画に基づき順次導入を進めており、今後の検討課題とします。				平成２３年度完了	１００％	長期計画の予定でしたが、予定を早めて平成２３年度に幅広改札機を導入しました。 （写真⑦）	A
新三河島駅（京成本線）案内サイン	４－①駅構内には案内看板を設置するスペースがありませんが、当駅周辺には公共施設が多く、自治体による案内看板が設置されていますので、こちらの充実を図るべく要望してまいります。				継続	-	自治体による案内看板が設置済みです。（写真⑧）	-

今後の取組方針

・取組の効果が着実に現れていることから、次年度以降も可能な範囲で継続した取組を実施する。

※対応ヶ所写真

①京成町屋駅点字シート

②日暮里多機能トイレベビーシート

③日暮里構内店舗前誘導・警告ブロック

④日暮里改札口外誘導・警告ブロック

⑤新三河島駅案内（注意喚起）

⑥新三河島階段警告ブロック

⑦新三河島幅広改札口

⑧新三河島駅前案内看板

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

つくばエクスプレス　南千住駅

担当部署	首都圏新都市鉄道株式会社　技術部施設課
取組方針（目的）	・沿線の全駅舎の安全性及び移動性の向上を推進する。

※評価値　凡例

A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%

B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
南千住駅（つくばエクスプレス線）トイレ	１－①トイレ内の案内サインを見直し、車いす利用者にも配慮したものに改善していきます。		■		平成 28 年度完了	100%	沿線 20 駅の統一した新しいサインを２月中旬から３月上旬に設置。	A
南千住駅（つくばエクスプレス線）トイレ	２－①簡易多機能ブース内の設備について、車いす利用者の使いやすいものに検討し、改善していきます。	■			平成 28 年度完了	100%	簡易多機能ブースと判るよう新しいピクトサインを設置。	A
南千住駅（つくばエクスプレス線）トイレ	３－①多目的トイレの利用マナー啓発のためのポスター等を掲示するとともに、点検時に利用者が使いやすいように管理します。		■	■	随時	——	駅係員によるマナー啓発を随時、掲示している。２月中旬から３月上旬にトイレ内の機器扱いのサインを掲出。	—
南千住駅（つくばエクスプレス線）トイレ	４－①簡易多機能ブースに子供用便座の設置を検討します。		■		平成 30 年度完了予定	１０%	沿線 20 駅の多様な意見もあり検討中	D

今後の取組方針

・南千住駅に限らず、沿線20駅を対象として、次年度以降も継続した取組を実施する。

・平成29年度に各駅のホーム階からコンコースに設置の誘導案内サインの更新を実施予定。

・障害者差別解消法の制定に伴う研修の実施。（H28．7）

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　全地区

都営バス

担当部署	東京都交通局　自動車部計画課	
取組方針（目的）	*乗り降りが容易で気軽に利用できる高齢者等の身近な足としての役割を果たすため、停留所や車両において、誰もが利用しやすく、便利で快適なサービスを提供します。*	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都営バス　車両	①平成 24 年度中に全ての路線バスをノンステップバスにします。	■			実施完了	100%	平成２４年度をもって全車両のノンステップ化が完了し、今後入替え等で更新する車両もノンステップバスの予定です。	A
都営バス その他	②研修の充実を図る等、乗務員の接遇向上、機器操作の習熟に継続的に取り組みます。	■	■	■	継続実施	－	車いす固定訓練キットや高齢者疑似体験セット等を活用したバリアフリー研修を実施し、乗務員の接遇の向上、機器操作の習熟を図っています。	－
都営バス　行先表示	①節電のため、一部標識柱の電灯を消していましたが、現在は再点灯しています。	■	■	■	実施完了	１００%	現在は、照明式の標識柱については、夜間点灯しています。	A
都営バス　維持管理	②適正な維持管理を行い快適性向上に努めます。	■	■	■	継続実施	－	老朽化している停留所については、適宜建替え・補修等を実施しています。	－
都営バス　サービス	１－①乗務員の接遇やバリアフリー教育等に関しては、研修などを定期的に実施するとともに、必要な場合は個別指導を行うなど、乗務員の接遇向上に努めています。	■	■	■	継続	—	車いす固定訓練キットや高齢者疑似体験セット等を活用したバリアフリー研修を実施し、乗務員の接遇の向上、機器操作の	－

							習熟を図っています。	
都営バス　バス停 （三ノ輪橋停留所）	２－①点字ブロックの所管に関しては、道路管理者となるため、バス事業者として道路管理者に、はたらきかけます。				未定	—	今後設置に向けて検討を進めていきます。	D
都営バス　バス停 （明治通り）	３－①バス停への正着について、添乗による乗務員指導のほか、未習熟者に対しては随時指導を行うなど、全乗務員の技術力の向上に努めます。				継続	—	運行管理者による添乗指導を、年間を通じて実施し、お客様の安全確保を第一に、バス停留所への正着を行うよう努めています。	—

今後の取組方針
都営バスでは、車両の一層のバリアフリー化を推進するとともに、上屋やベンチの設置を進めるなど、誰もが利用しやすい公共交通機関を目指しています。

京成バス

特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　全地区

担当部署	京成バス株式会社　営業部乗合営業課	
取組方針（目的）	・京成バスでは全ての車両をノンステップバスで運行。 ・荒川区コミュニティバスの車両は車椅子乗車用の傾斜角度の違う、2タイプのスロープ板を装備し、乗車時の状況に応じて緩やかな角度のスロープ板で対応。 ・バス乗務員に対しバリアフリーに関しての講習を随時実施。	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
サービス	１－①乗務員によるアナウンスの実施といった人的支援を強化します。				随時	随時	随時	B

今後の取組方針

・バリアフリー関連のシンポジューム等の積極的な参加。
・バリアフリー教室への参加、車両の提供協力。
・子育て世代への支援（ベビーカーでの乗車のお客様に対し、積極的な手助け等）
・高齢者への支援強化（乗務員による車内、車外への積極的なアナウンスの実施、手助け等）
・当社ホームページによるバリアフリー関連の案内や、バス停、バス車内での掲示物による周知の徹底。
・地域の小学校等での安全教室の実施（安全指導や車椅子乗車体験などで周知を図る）
・乗務員に対するバリアフリーに関する講習の継続及び安心安全に対する講習を実施。

道路特定事業（国）進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

道路管理者（国道）

担当部署	国土交通省東京国道事務所　交通対策課	
取組方針（目的）	バリアフリー法に基づく特定道路を中心に、歩道の段差･勾配の改善、点字ブロックの設置等を推進する。	※評価値　凡例 A:　100％（実績進捗率）　C:50～70％ B:　70～90％　D:50％以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
国道４号（日光街道）	１－①物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難な箇所について、安全対策の検討を進めます。また、自転車通行環境について、警察や荒川区とともに検討を進めます。		―	―	－	－	引き続き、安全対策の検討を進めます。また、自転車通行環境について、警察や荒川区とともに検討を進めます。	－
国道４号（日光街道）	１－②自転車のマナー向上について、警察や荒川区とともに検討を進めます。	―	―	―	継続	－	引き続き、自転車のマナー向上について、警察や荒川区とともに検討を進めます。	－
国道４号（日光街道）	１－③今後の道路整備計画にあわせて、歩道舗装の改修を行います。		―	―	－	－	電線共同溝整備とあわせて、歩道舗装の改修、道路の移動円滑化基準に対応した勾配への改修、段差の改良を行う予定です。	－
国道４号（日光街道）	１－④今後の道路整備計画にあわせて、道路の移動円滑化基準に対応した勾配に改修します。		―	―	－	－		－
国道４号（日光街道）	１－⑤今後の道路整備計画にあわせて、道路の移動円滑化基準に従い歩道と車道の間の段差の改良を行います。		―	―	－	－		－
国道４号（日光街道）	１－⑥歩道橋については、施設の改修時期について検討を進めます。			―	－	－	・三ノ輪交差点歩道橋にエレベーターを設置しました。（平成 26 年 2 月末供用） ・歩道橋の改修について	－

							は、予算の状況を踏まえ改修方法について検討を進めます。	
国道４号 （日光街道）	１－⑦今後の道路整備計画にあわせて、点字ブロック設置を行います。				－	－	電線共同溝整備とあわせて、点字ブロック設置を行う予定です。	－
国道４号 （日光街道）	１－⑧道路の移動円滑化整備ガイドラインに従い点字ブロックの改修を行います。				完了済み	100%	大関横丁交差点の点字ブロックについて改修しました。（H26 年施工済み）	A

今後の取組方針
・取組の効果が着実に現れるよう、次年度以降も継続した取組を実施して参ります。 ・既に整備が完了している箇所においても、補修等が必要となった場合には、適宜検討して参ります。

道路特定事業（東京都）進捗管理シート　（平成２８年度）　町屋駅・区役所周辺地区

道路管理者（都道）

担当部署	東京都第六建設事務所　補修課
取組方針（目的）	*道路上の安全性及び移動性の向上を推進する。*

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都道 306 号線（明治通り）	①歩道上を私的に占有している箇所については、道路使用の適正化に向けて、指導・監督します。						継続実施	
都道 306 号線（明治通り）	②平成 24 年度を目途に、荒川区役所バス停付近の歩道改修を行います。				実施済み	100%		A
都道 306 号線（明治通り）	③平成 23 年度を目途に、荒川区役所前バス停と区役所間の連続的な点字ブロック整備を行います。				実施済み	１００%		A
都道 313 号線（尾竹橋通り）	④平成 23 年度を目途に、車道と歩道との間の段差箇所を改修し、段差を小さくします。				実施済み	１００%		A
都道 313 号線（尾竹橋通り）	⑤店舗前の放置自転車については、今後も巡回を行い、長時間駐輪し、破損している自転車の撤去に努めていきます。						継続実施	
都道 313 号線（尾竹橋通り）	⑥平成 23 年度を目途に、舗装が凸凹している箇所の歩道補修を行い、歩道の段差を小さくします。				実施済み	１００%		A
都道 313 号線（尾竹橋通り）	⑦歩行者の通行を邪魔している自転車については、区の活動に協力し、利用者の自転車乗車マナー向上に努めていきます。						継続実施	

都道 313 号線 (尾竹橋通り)	⑧交通管理者が自転車の歩道通行を許可している箇所についても、区の活動に協力し、利用者マナーの向上に努めていきます。						継続実施	
都道 313 号線 (尾竹橋通り)	⑨放置自転車問題については、引き続き、区の放置自転車キャンペーン等に参加し、広報活動に努めます。						継続実施	

道路特定事業（東京都）進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績 (進捗率)	取組状況	評価値
都道 457 号線 （駒込宮地線）	１－①西日暮里駅前の坂について、物理的・地形的な制約から道路の改良が困難なため、傾斜に対して注意を喚起する対策を検討するとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討を行います。						必要に応じて検討実施	
都道 457 号線 （駒込宮地線）	１－②物理的・地形的な制約から道路の改良が困難なため、歩道の傾斜に対して注意を喚起する対策を検討するとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討を行います。						必要に応じて検討実施	
都道 457 号線 （駒込宮地線）	１－③西日暮里駅から開成学園に向かう歩道橋の下の歩道について、物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難なため、引き続き歩道部分の着色により利用者に注意喚起を行うとともに、歩道橋の改修時期に歩道拡幅について検討を行います。						必要に応じて検討実施	

都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－①三河島駅前道路の道路傾斜について、物理的・地形的な制約から道路の改良が困難なため、歩道の傾斜に対して注意を喚起する対策を検討するとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討します。				平成 31 年度		電線類地中化復旧時に合わせて改修できるよう、沿道施設管理者と協議を行い、改善策検討中 （電線類地中化施工中）	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－②物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難なため、歩道部分の着色などにより利用者に注意喚起を行うとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討を行います。						必要に応じて検討実施	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－③自転車のマナーについて警察や荒川区とともに検討を進めます。						必要な協力を実施	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－④バス停の段差について、歩道勾配など、周辺の地形を考慮しながら対策の検討を進めます。				平成 31 年度		歩道勾配等対策検討中 （電線類地中化施工中）	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－⑤街路樹の下から枝が出ていて、危ない場所について、適正な維持管理を行い安全性・快適性向上に努めます。						適正な維持管理の継続	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－⑥店の看板や自転車、植木が多く歩道が歩きづらい箇所及び、ＪＲ三河島駅から蔦谷駅方面へ路上駐車の車が多い箇所について、警察や荒川区とともに検討を進めます。				平成３１ 年度		電線類地中化復旧時に合わせて歩道の歩きづらい箇所改善 （電線類地中化施工中）	
都道 313 号線 （尾竹橋通り）	２－⑦街路樹について、適正な維持管理を行い安全性・快適性向上に努めます						適正な維持管理の継続	
都道放射 11 号線 （尾久橋通り）	３－①アンダーパスの北側について、歩道整備時に誘導ブロック設置を行います。						必要に応じて検討実施	

都道放射 11 号線（尾久橋通り）	３－②高架下の坂の傾斜について、物理的・地形的な制約から道路の改良が困難なため、歩道の傾斜に対して注意を喚起する対策を検討するとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討を行います。						必要に応じて検討実施	
都道放射 11 号線（尾久橋通り）	３－③パイプの幅が狭く、車椅子では通れない箇所について、パイプの配置など、改善案について検討を進めます。				実施済み	100%		A
都道放射 11 号線（尾久橋通り）	３－④自転車のマナーについて警察や荒川区とともに検討を進めます。						必要な協力を実施	
都道放射 11 号線（尾久橋通り）	３－⑤段差・幅員の改善については、将来の大規模改修時に改善策を検討します。自転車歩行者道の場合は、軽車両である自転車の走行が認められていますが、本来は車道を走行することになっています。						必要に応じて検討実施	
都道 306 号線（明治通り）	４－①ゴミ箱の所有者を調べ撤去するなどの指導をします。						適宜実施	
都道 306 号線（明治通り）	４－②歩道の横断勾配がきつく車椅子利用者は通りにくい箇所について、物理的・地形的な制約から道路の改良が困難なため、歩道の傾斜に対して注意を喚起する対策を検討するとともに、将来の大規模改修時に改善策について検討を行います。				平成 30 年度	50%	歩道セミフラット化実施済（H27）	

道路特定事業（東京都）進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都道 306 号線(明治通り)	１－①歩道幅員が狭く自転車との接触事故等の危険がある箇所には、注意喚起するための路面標示等を施します。		■				自転車が車道通行のため必要か否か検討する	D
都道 306 号線(明治通り)	１－②歩道の違法駐輪については、区の指導に対して必要な協力を実施します。	■					必要な協力を継続実施	
都道 306 号線(明治通り)	１－③道路の不法占用（店舗前の看板張り出しや商品の陳列等）に対する適正化指導を実施します。	■	■	■			継続実施	
都道 306 号線(明治通り)	１－④バリアフリーに配慮した歩道補修に努めます。（舗装等がたつき、歩車道境界の段差、歩道の陥没 等）	■	■	■			継続実施（その都度対応）	
都道 306 号線(明治通り)	１－⑤点字ブロックの設置を行います。		■			90%	継続実施	B
都道 306 号線(明治通り)	１－⑥通行の妨げとなる植栽の選定を実施します。	■					継続実施（その都度）	
都道 464 号（コツ通り）	２－①自転車のマナー向上について、警察や荒川区の指導に対して適切な協力を実施します。	■						
都道 464 号（コツ通り）	２－②立体横断施設については施設の改修時に、道路の移動円滑化基準に対応した階段設置を検討します。			■				
都道 464 号（コツ通り）	２－③線路（常磐線）下のトンネルは、交通安全に対する注意喚起を促す看板や路面表示を行います。	■			完了済み	100%	道路冠水表示板、すべり止め等完了	A

道路特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　熊野前駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都道 306 号	１－①電線類の地中化整備にあわせて、生活関連経路に位置づけた区間に、移動円滑化基準に基づき点字ブロックを設置します。				未定	5%	検討を行う	D
都道 306 号	１－②電線類地中化にあわせ、歩行空間の確保と歩道の急勾配の解消を検討し実施します。				平成 31 年度	10%	電線類地中化事業に合わせ対策を検討中（セミフラット化は検討の結果、急勾配の解消に努めることとした）	D
都道 306 号	１－③電線類地中化にあわせ、歩行空間の確保と歩道の急勾配の解消を検討し実施します。				平成 31 年度	10%	電線類地中化事業に合わせ対策を検討中（セミフラット化は検討の結果、急勾配の解消に努めることとした）	D
都道 306 号	１－④電線類地中化にあわせて、勾配の確保等水溜りの解消を図ります。				平成 31 年度	10%	電線類地中化事業に合わせ対策を検討中	D
都道５８号線	２－①生活関連経路に位置づけた区間に、移動円滑化基準に基づき点字ブロックを設置します。				未定	50%	継続実施	D

今後の取組方針
取組の効果が着実に現れていることから、次年度以降も継続した取組を実施する。

道路管理者（区道）

道路特定事業（荒川区）進捗管理シート　（平成２８年度）　町屋駅・区役所周辺地区

担当部署	荒川区防災都市づくり部道路公園課（施設管理課・交通対策課：ソフト対応）
取組方針（目的）	荒川区では、関係所管で以下のように連携してバリアフリー環境を常時推進する。 ・誰にでも安心で安全に移動ができる道路の整備を推進する（道路公園課） ・地区全体で交通安全や自転車利用マナー講習、路上駐車や駐輪の指導等を継続して実施する（交通対策課） ・良好な道路環境の維持（施設管理課） ・交通管理者や地元との連携、違法占用物件の撤去等

※評価値　凡例

A:　100％（実績進捗率）
B:　70～90％
C:　50～70％
D:　50％以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
地区全体	⑤町屋駅から区役所やアクロス荒川までの案内誘導については、案内方法や内容等を検討した上で実施に向け取り組みます。				平成 28 年度完了	100％	対応済み	A
区道荒 42 号線（サンパール通り）	⑥防災センターから都電荒川七丁目停留場までの歩道未整備区間は、荒川二丁目複合施設の建設に合わせて工事を行います。				平成 32 年度	１０％程度	平成２６年度より、東京都の都市計画道路事業を行っている。事業認可取得。	D
区道荒 42 号線（サンパール通り）	⑦サンパール荒川前の歩道の舗装は改修後 20 年近く経過しているため、改修時期を検討した上で実施に向け取り組みます。				平成 32 年度	５０％程度	サンパール荒川側は、平成２７年度に建物改修にあわせ工事を行い、歩道勾配を改善した。対面については、都市計画道路の進捗状況を見据えて、改修工事時期の検討を行っていく。	C

区道荒 42 号線 (サンパール通り)	⑧サンパール通りの歩道へ設置した路面シートに施設の方向等多くの情報を盛り込むことは困難なため、ウォーキングの際に活用できるマップを作成し配付しています。				平成 21 年度完了	１００％	平成 21 年度にマップ作成。	A
区道荒 97･116 号線 (藍染川通り)	⑨藍染川通りの歩道幅員が狭い箇所、曲がり角が急な箇所については、ガードパイプの移設等を含め、可能な限り有効幅員が確保できるよう、交通管理者と協議し対応していきます。				平成３２年度	５０％程度	車道の下に下水道の幹線があるため、下水道幹線の再整備時に、車道を下げる工事を行って行く。 沿道に住宅がない京成側については、下水道局と協議をし、下水道の復旧工事に伴い、歩道の横断勾配を緩和する整備を行う予定である。 平成２７年度にサンパール通りと藍染川通りの交差部分ついて、歩道勾配を可能な限り緩やかにする工事を行った。	C
区道荒 97･116 号線 (藍染川通り)	⑩京成電鉄ガード下道路の改修については、京成電鉄及び交通管理者と継続的に検討します。				—	１０％程度	現地確認。交通管理者等と調整を行っていく。	D
区道荒 44･262 号線 (荒川中央通り)	⑪歩行空間を阻害している電柱の移設について、関係事業者と協議し、実施に向け継続的に取り組みます。 また、荒川中央通り～藍染川通りの接続部はカーブミラーの設置についても引き続き検討します。				—	１０％程度	現地確認。関係事業者と協議を行っていく。	D

区道荒 44･262 号線 (荒川中央通り)	⑫歩道が狭く、車のスピードが速い区間についてはガードパイプの設置やスピードの抑制策等、可能な限り交通管理者と協議し、実現に向けて取り組みます。				平成 32 年度	１０%程度	現地確認。交通管理者等と協議を行っていく。	D
区道荒 44･262 号線 (荒川中央通り)	⑬歩道の横断勾配については、改修時期を検討した上で実施に向け取り組みます。				—	１０%程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
区道荒 290 号線	⑮都電町屋駅前から京成町屋駅に向かう途中の点字ブロックが途切れている箇所については、東京都交通局・第六建設事務所と協議し、速やかに対応します。				平成２３ 年度完了	１００%	対応済み	A
区道荒 104 号線 (千住間道)	⑯古い電柱については、所有者不明の電⑯障害対策用のケーブルが付属しているため、東京電力では撤去ができない状況にあります。 アナログ放送の配信が終了次第、撤去できる見込みです。				平成 22 年度完了	１００%	電柱撤去済み	A
区道荒 213-1 号線 (仲町通り	⑰あらかわエコセンター敷地内の舗装について、改修時期を検討した上で実施に向け取り組みます。							

今後の取組方針

･道路整備に併せて「バリアフリー法」に沿った整備を整備すると共に、整備まで日々の管理を充実させる。
･今後とも、交通管理者等と協議を続け、安全で安心して通行できる、道路整備を続けていく。
･予算の確保の問題により、予防保全型の考えをより一層強く持ち、低コストの道路事業を推進していく。

ウォーキングロードマップ

区道荒２９０号線　点字ブロック

区道荒１０４号線（千住間道）　電柱

道路特定事業（荒川区）進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
区道第 691 号線（藍染川西通り）	１－①歩道の傾斜などについて、改修後 30 年近く経過しているため、時期について検討を進めます。				－	５０％	車道の下に下水道の幹線があるため、下水管線の再整備時に、車道を下げる工事を行っていく。 沿道に住宅がない、京成側については、下水道局と協議し、下水道の復旧工事に伴い歩道勾配を緩和する整備を平成２６年度に行っている。	C
区道荒 83 号線	２－①歩道のブロックがでこぼこしていて危険な箇所について、改修時期について検討を進めます。				平成 28 年度完了	100％	対応済み	A
区道荒 83 号線	２－③地域全体のサイン改修時に分かりやすいサイン設置の検討を進めます。				―	１０％程度	関係部署と調整を図り、わかりやすい案内板の設置について検討する。	D
区道荒 87(一部)、第 319-1、荒 115 号線	３－②歩道が無く危険な箇所について、用地の制約から歩道の確保が困難となっていますが、着色などによる利用者への注意喚起の検討を進めます。				継続	―	Ｈ２６年度に通学路合同点検を、関係部署と行い、自動車への注意喚起についての対策を警察と協議した。 交通安全整備工事において外側線や通学路グリーンの再表示等を行った。	A

区道荒 87 号線 （七五三通り）	４－①木の根が持ち上がって歩道に凹凸がある箇所について、改修時期について検討を進めます。				平成３２年度	１０％程度	現地確認し、木の根により大きく持ち上がっている舗装については、部分的に、補修を行っている。平成２７年度に策定した歩道の整備計画に基づき整備を進める	D
区道荒 87 号線 （七五三通り）	４－②歩道と車道の間に段差について、改修時期について検討を進めます。				平成３２年度	１０％程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
区道荒 87 号線 （七五三通り）	４－④点字ブロックについて、改修の際に、移動円滑化基準に適合した構造に改修します。				平成３２年度	１０％程度	交通安全施設整備や歩道内の安全を確保するための整備計画のなかで対応していく。	D
区道荒 161、荒 86 号線	５－①歩道に標識があり通りにくい箇所について、歩道上の標識の移設について、可能な限り協議を進めます。				平成 29 年度	１０％程度	現地確認。交通管理者等と協議を進めていく。	D
区道荒 161、荒 86 号線	５－②ガードレールで歩道が狭くなっている箇所について、ガードレールの移設に関して、可能な限り協議を進めます。				平成３２年度	１０％程度	現地確認。交通管理者と検討を進めていく。	D
区道荒 161、荒 86 号線	５－③歩道が無く危険な箇所について、用地の制約から歩道の確保が困難となっていますが、着色などによる利用者への注意喚起の検討を進めます。				平成３２年度	３０％	交通管理者と協議を進めて外側線の外側に、着色を行っています。今後とも、交通管理者と検討を進めていく。	D
区道荒 89 号線 （あやめ通り）	６－①横断歩道と歩道の段差について、改修時期について検討を進めま				継続	—	現地調査を行い、横断歩道部で基準以上の段差の	A

	す。						箇所は改修しました。今後経年劣化により基準以上になった箇所については、補修を進めていく。	
区道荒 89 号線（あやめ通り）	６－②歩道の適正な維持管理を行い快適性向上に努めます。				継続	—	除草及び清掃等を行い、今後も日々適正な管理を行う。	A
区道荒 108 号線（諏訪台通り）	８－①渋滞する自動車が歩行のじゃまになっている箇所について、交通管理者と協議しながら対応策の検討を進めます。				—	１０％程度	現地確認。交通管理者との協議を進めていく。	D
区道荒 108 号線（諏訪台通り）	８－②富士見坂は地形上勾配の緩和は困難ですが、改修の際は、可能な限り移動円滑化基準に適合した形に近づけるよう検討を行います。				—	１０％程度	現地確認。地形上勾配の緩和は困難であるため、代替ルートの案内などを検討する。	D
区道荒 108 号線（諏訪台通り）	８－③富士見坂は地形上坂の下に平場を設けることが困難です。通行車両に注意を促す工夫などの検討を進めます。				継続	—	注意看板を設置しているが、今後も交通管理者と協議を進めていく。	A
区道荒台 6 号線	９－①段差と車道、歩道の勾配について、改修の際に、移動円滑化基準に適合した構造に改修します。				—	１０％程度	現地確認。改修の際には、移動円滑化基準に適合した構造に改修する。	D
区道荒台 6 号線	９－④西日暮里駅の案内看板について、改修に併せ、分かりやすいものに改善します。				—	１０％程度	改修時に、関係部署と調整を行い、わかりやすい案内板に改善する。	D
区道荒台 6 号線	９－⑤歩道と車道の間のボラードの設置やスピードの抑制など、可能な限り交通管理者と協議を進めます。				平成 32 年度	１０％程度	現地確認。交通管理者との協議を進めていく。	D
区道荒台 6 号線	９－⑥歩道の幅員について、用地の制約から歩道の拡幅などは困難となっています。改修後 20 年近く経過しているため、時期について検討を進めます。				—	１０％程度	現地確認。改修時期について検討する。	D

区道台荒１号線（夕やけだんだん含む）	１０－①改修の際、スロープの構造などの検討を行います。				―	１０％程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
区道台荒１号線（夕やけだんだん含む）	１０－②歩道及び駅構内のスペースの関係からスロープの設置が困難なため、段差が解消された経路に誘導するためのサイン設置を検討します。今後課題改善に向けて JR 東日本と協議しながら検討を進めます。				平成 32 年度	１０％程度	日暮里駅北口のバリアフリー化についてＪＲ東日本との協議が整った。	D
紅葉橋	１１－①紅葉橋のバリアフリー化への対応については、今後橋梁の架け替えを含めて鉄道事業者と検討を行います。				平成 32 年度	３０％	平成 26・27 年度にＪＲ東日本と共同で、耐震調査を行った。調査結果を基に EV を整備しバリアフリー化を図る方針である。 29 年度に予備設計を実施する。	D

今後の取組み方針

・道路整備に併せて「バリアフリー法」に沿った整備を整備すると共に、整備まで日々の管理を充実させる。
・今後とも、交通管理者等と協議を続け、安全で安心して通行できる、道路整備を続けていく。
・予算の確保の問題により、予防保全型の考えをより一層強く持ち、低コストの道路事業を推進していく。

道路特定事業（荒川区）進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
一級区道荒 98 号線	１－③現場を確認し、歩道の補修工事を実施します。				平成２４年度完了	１００％	平成 24 年度日光街道から南千住七丁目２３番先の交差点まで、歩道舗装部分打替え工事を行った。	A
二級区道荒 61 号線	３－②物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難な路線ですので、歩道の着色等を含めて交通安全に対する注意喚起を検討します。				平成 32 年度	10%程度	現地確認。交通管理者との協議を進める。	D
二級区道荒 61 号線	３－③道路の移動円滑化基準に対応した勾配に改修を検討します。				—	１０%程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
二級区道荒 61 号線	３－④車いす利用者に配慮して、バス停の改修を順次を行います。				平成 25 年度	100%	地先の開発時に、車乗り入れ部の変更により、乗り入れ部にあった停留所が通常部になったので、歩道勾配が改善された。	A
特別区道第 91 号線	４－①現場を確認し、改修が可能であれば、段差解消工事を実施していきます。				－	１０%	現地確認。改修時期について検討する。	D
特別区道第 232-2 号線	５－①物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難な箇所について、歩道の着色等により交通安全に対する注意喚起を行います。				平成 32 年度	１０%	現地確認。交通管理者との協議を進める。	D
特別区道荒 55 号線	６－①分かりやすい案内板の設置の検討を進めます。				－	１０%程度	関係部署と調整を図り、わかりやすい案内板の設置について検討する。	D

特別区道荒 57 号線	７－①物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難な箇所について、交通安全に対する注意喚起を行うとともに、安全な経路への案内を充実します。 交通事故の危険性が高い箇所について、状況に応じた交通事故防止対策について警察と連携して検討を進めます。				継続	－	平成２６年度に南千住図書館周辺において滑り止め、道路標示、ガイドパイプの更新などを行った。27 年度には南千住警察と協議をし、店舗周辺に交通安全施設整備工事を行った。	A
特別区道荒 101 号線	８－②歩道の改修にむけて検討します。				－	１０%程度	現地確認。改修計画について検討する。	D
特別区道荒 101 号線	８－③わかりやすい案内版の設置にむけて、関係部署と検討をします。				－	１０%程度	関係部署と調整を図り、わかりやすい案内板の設置について検討する。	D
特別区道荒 101 号線	８－④道路の移動円滑化整備ガイドラインに従い点字ブロックの改修を行います。				－	１０%程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
特別区道荒 102 号線	９－①周辺状況を考慮し、一定の照度の確保に努めます。				平成 26 年度完了	１００%	平成 26 年度にランプ交換、灯具清掃などを行った。	A
特別区道荒 270 号線（若宮八幡通り）	１０－①通行状況を勘案し、点字ブロック設置にむけて検討します。				－	１０%程度	現地確認。改修時期について検討する。	D
特別区道荒 294 号線（ドナウ通り）	１１－①モニュメントの移設とともに、道路の移動円滑化整備ガイドラインに従い点字ブロックの改修について検討します。				平成 25 年度完了	100%	平成 25 年度にモニュメントを移設し、途中で切れていた、点字ブロック間の施工を行った。	A
特別区道荒 294 号線（ドナウ通り）	１１－④自転車と歩行者のより優れた分離方法について検討を行います。				－	10%程度	自転車専用通行帯の設置などについて検討を進めていく。	D
南千住駅常磐線沿いの歩道	１２－②物理的・地形的な制約から歩道の拡幅が困難な箇所について、交通安全に対する注意喚起を行います。				継続	—	現地確認。南千住警察と協議し、直営による看板の設置、道路標示を実施した。引続き都市計画道	A

							路整備との調整を図っていく。	
南千住駅常磐線沿いの歩道	１２－③現場を確認し、道路の移動円滑化基準に従い段差の解消工事を行います。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備との調整を図っていく。	D

今後の取組方針
・道路整備に併せて「バリアフリー法」に沿った整備を整備すると共に、整備まで日々の管理を充実させる。 ・今後とも、交通管理者等と協議を続け、安全で安心して通行できる、道路整備を続けていく。 ・予算の確保の問題により、予防保全型の考えをより一層強く持ち、低コストの道路事業を推進していく。

二級区道荒６１号線　３－④　バス停

道路特定事業（荒川区）進捗管理シート　（平成２８年度）　熊野前駅周辺地区

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－①都市計画道路の整備や道路改修にあわせて、バリアフリーに配慮した振動が少ない歩道舗装の検討を行います。				－	１０％程度	都市計画道路施工時には、現在使用しているインターロッキングブロックよりも、振動が少ない素材の使用を検討する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－②都市計画道路の整備や道路改修にあわせて、バリアフリーに配慮した歩道勾配の改善を進めます。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－③都市計画道路の整備や道路改修にあわせて、バリアフリーに配慮した歩行者空間の改善を図ります。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－④交番前の交差点の傾斜について、状況を調査のうえ改善を検討します。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－⑤都市計画道路の整備や道路改修にあわせて、バリアフリーに配慮した歩行者空間の改善を図ります。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－⑥都市計画道路の整備にあわせて、バリアフリーに配慮した歩行者空間の改善を図ります。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－⑦都市計画道路の整備にあわせて、歩行者空間の改善を図ります。				－	１０％程度	現地確認。都市計画道路整備時に整備する。	D
熊野前駅～～大門小学校入口交差点	３－⑧歩道のがたつきについて、状況を確認のうえ舗装改修を進めます。				継続	－	不良個所がある箇所については、確認次第補修を行っていく。平成 28 年	A

							度は応急維持工事で補修した。	

今後の取組方針
・道路整備に併せて「バリアフリー法」に沿った整備を整備すると共に、整備まで日々の管理を充実させる。 ・今後とも、交通管理者等と協議を続け、安全で安心して通行できる、道路整備を続けていく。 ・予算の確保の問題により、予防保全型の考えをより一層強く持ち、低コストの道路事業を推進していく。

都市公園特定事業進捗管理シート　（平成 28 年度）　町屋駅・区役所周辺地区

施設管理者（荒川区）

●荒川公園、荒川自然公園

担当部署	荒川区防災都市づくり部道路公園課
取組方針（目的）	安全で快適な利用の確保のため計画的な予防保全対策により公園施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減や事業費の平準化を推進する。

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
荒川公園 園路	園路の舗装（インターロッキングブロック）が凸凹の箇所は樹木の根による影響と思われるので調査して対応します。				平成 23 年度完了	100%	・現地調査から不良部分については修繕した。 ・不良部分が発生した場合には適宜修繕を施している。	A
荒川公園 北トイレ（追加）					平成 25 年度完了	100%	・建替えにより多目的トイレを設置	A
荒川自然公園 出入口	平成 23 年度に、荒川二丁目入口にエレベーターを整備する予定です。整備にあわせエレベーターに続く通路も改修します。				平成 23 年度完了	100%	エレベーターの整備にあわせ、通路の全面改修を実施した。	A
荒川自然公園 園路	段差がある箇所における防護柵の不備は、調査し対応します。園路の舗装の凹凸は、樹木の根が原因と考えられますが、調査を行い対応します。				平成 32 年度	60%程度	・第 1 期部分は現地調査から不良部分については修繕を施し、次年度以降に予算の確保が出来次第、整備する予定。 ・第 2 期部分の外周園路についてはゴムチップ舗装を実施した。 ・第 3 期部分は、調査・検討済み。次年度以降に	C

							予算の確保が出来次第、整備する予定。	
荒川自然公園 トイレ	荒川自然公園は下水施設の屋上にあり、トイレ建物本体が下水道局の所有となっています。そのためトイレ改修建替えにあたっては荷重制限等様々な制限がありますが、下水道局と協議の上、園内に「だれでもトイレ」及び制限範囲内で可能な限りのトイレの設置を検討していきます。また、設置後は、設備の点検、清掃の頻度及び手順の見直し、芳香剤の設置等を行います。				平成 32 年度	70%程度	・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、建替え等を実施していく。 ・第 1 期部分については改修レイアウト完了。 ・第 2 期部分は平成 24 年度に全面改修済み ・第 3 期部分は平成 7 年度の開園と共に設置済み。	B
荒川自然公園 設備	水飲み場は園内に計画的に配置しています。設置場所の非平坦性は点検して対応できるものは対応します。				平成 24 年度完了	100%	・非平坦性の部分は園路改修時に改修を実施した。	A

今後の取組方針

・建設が同時期の既存ストックの更新による予算の集中などに対応するため、一度に建替えや全面改修が困難なことから、取組方針を踏まえ、次年度以降は、他の有効既存資産の活かした低コストで実施可能なソフトの提供やＬＣＣの低減に対応した部分改修を実施する。
・従来の事後的な修繕に代わり中長期的な計画に基づく予防保全型修繕へ転換することにより、施設の安全性の確保や修繕に要する費用の縮減、平準化を図る。
・公衆・公園トイレについては、改修計画を策定しトイレのバリアフリー化を図っていく。

荒川公園

園路

園路

荒川自然公園

出入口

エレベーター

第２期園路

第２期トイレ

水飲み周辺

都市公園特定事業進捗管理シート　（平成 28 年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

●日暮里南公園、西日暮里公園、真土公園

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
日暮里南公園 トイレ	１－①トイレの建替え時には新しい基準にあった「だれでもトイレ」を建設し、分かりやすい表示をします。			■	平成 26 年度完了	100%	建替えにより実施済み	A
日暮里南公園 トイレ	１－②トイレ建替え時に、子供用の手洗い設置の検討を行います。			■	平成 26 年度完了	100%	建替えにより実施済み	A
西日暮里公園 園道、出入口、トイレ	１－①当公園は再整備の計画があり、実施に当たっては公園利用者などの意見を踏まえ、整備内容の検討を行います。		■	■	－	30%程度	基本設計完了	D
真土公園 トイレ	１－①トイレの老朽化が目立っており、建替えの検討を進めます。			■	平成 32 年度	30%程度	・適宜、不良個所については修繕を施した。 ・近隣の西日暮里一丁目広場にH21 年度に整備した多目的トイレがあるため、そちらまでの案内を掲示した。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、建替え等を実施していく。 ・近隣の多目的トイレの位置が分かるよう、子育て支援と協力し、区内トイレマップを作成した。また、これを「あらかわ	D

							子育てマップ」やＨＰで公開している。 ・全公園内にＱＲコード設置し、携帯やスマホでＨＰにアクセスしやすい環境を整えた。	

今後の取組方針
･建設が同時期の既存ストックの更新による予算の集中などに対応するため、一度に建替えや全面改修が難なことから、取組方針を踏まえ、次年度以降は、他の有効既存資産の活かした低コストで実施可能なソフトの提供やＬＣＣの低減に対応した部分改修を実施する。 ･従来の事後的な修繕に代わり中長期的な計画に基づく予防保全型修繕へ転換することにより、施設の安全性の確保や修繕に要する費用の縮減、平準化を図る。 ･公衆･公園トイレについては、改修計画を策定しトイレのバリアフリー化を図っていく。

都市公園特定事業進捗管理シート　（平成 28 年度）　南千住駅周辺地区

●瑞光公園、リバーハープ公園、天王公園、東日暮里一丁目公園、公衆トイレ（南千住東口ドナウ広場、都電荒川線三ノ輪橋駅）

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
瑞光公園 トイレ	１－①トイレの老朽化が目立っており、トイレ再整備する場合には。多目的トイレの設置を検討します。				平成 32 年度	10%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、建替え等を実施していく。	D
瑞光公園 トイレ	１－②近くの公園に多目的トイレが設置されていますので、再整備までの間、案内誘導の充実を検討します。				平成 29 年度	100%	・近隣の多目的トイレの位置が分かるよう、子育て支援と協力し、区内トイレマップを作成した。また、これを「あらかわ子育てマップ」やＨＰで公開している。 ・全公園内にＱＲコード設置し、携帯やスマホでＨＰにアクセスしやすい環境を整えた。 ・近隣の南千住第四児童遊園にＨ22 年度に整備した多目的トイレがあるため、そちらまでの案内を掲示した。	A
瑞光公園 園路	２－①車いすで通行できる箇所について、案内誘導の充実の検討をします。				平成 31 年度	10%程度	・現地調査完了。次年度以降に予算化の検討をする。	D
瑞光公園 園路	２－②園路舗装の段差や割れ等の点検を行い適切に対応します。				平成 25 年度完了	100%	・現地調査から不良部分については修繕した。 ・不良部分が発生した場	A

							合には適宜修繕を施している。	
瑞光公園 園路	２－③商店街利用者用の駐輪場の役割も担っていますが、日頃から点検し、適切に対応します。				継続	100%	適宜実施している。	A
リバーハープ公園 トイレ	１－①適切な維持管理を実施し、当該トイレの扉が開けやすくなるよう調整します。				平成 25 年度完了	100%	・現地調査を実施し、扉の開閉を調整した。	A
リバーハープ公園 トイレ	１－②多目的トイレの改修については、トイレの再整備に合わせて検討します。				－	10%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、改修等を実施していく。	D
リバーハープ公園 トイレ	１－③近くの公園には多目的トイレが設置されていますので、案内誘導の充実を検討します。				平成２５ 年度完了	100%	・近隣の多目的トイレの位置が分かるように、子育て部門と協力し、区内トイレマップを作成した。また、これを「あらかわ子育てマップ」や区ＨＰで公開している。 ・全公園内にＱＲコード設置し、携帯やスマホでＨＰにアクセスしやすい環境を整えた。 ・近隣の南千住駅東口ドナウ広場にＨ14 年度に整備した多目的トイレがあるため、そちらまでの案内を掲示した。	A
天王公園 園路	１－①施設全体を調査した上、安全対策について検討を進めます。				－	10%程度	・現地調査完了。 ・全体的に施設の老朽化は見られないものの、安全性の向上を図る改修を順次検討していく。	D

天王公園 トイレ	１－②１日２回、清掃しており、設備の老朽化には調査の上対応します。				平成 25 年度完了	100%	・現地調査を実施し、不良部分については修繕した。 ・不良部分が発生した場合には適宜修繕を施している。	A
東日暮里一丁目公園 園路	１－①出入り口の改善を検討します。				平成 26 年度完了	100%	都住の公園復旧工事に合わせ改修した。	A
東日暮里一丁目公園 園路	１－②車いす用出入り口の改善を検討します。				平成 26 年度完了	100%	都住の公園復旧工事に合わせ改修した。	A
東日暮里一丁目公園 水飲み場	２－①設備の更新時に車いす利用者でも使いやすい設備に変更します。				平成 26 年度完了	100%	都住の公園復旧工事に合わせ改修した。	A
東日暮里一丁目公園 水飲み場	２－②利用実態を調査した上、適切に対応します。				平成 26 年度完了	100%	都住の公園復旧工事に合わせ改修した。	A
東日暮里一丁目公園 トイレ	３－①トイレを再整備する場合には、多目的トイレの設置を検討します。				平成 32 年度	30%程度	・改修イアウト完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、建替え等を実施していく。	D
南千住東口ドナウ広場　多目的トイレ	１－①状況を確認のうえ適切な自動開錠時間の検討を行います。				平成 32 年度	50%程度	・現地調査の結果、トイレの利用時に、内側開ボタン押さない限り一定時間、扉が開かない構造となっている。退室時に内側の閉ボタンを押してしまうと、誰もいない状態でも、一定の時間、扉が開かない。このため、当面の対策として利用上の注意ポスターと緊急連絡先を掲示した。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。本計画に基づき、改修等を実施	D

							していく。	
南千住東口ドナウ広場　多目的トイレ	１－②状況を確認のうえ、トイレの開閉の改善方法について検討を行います。				平成 32 年度	50%程度	・現地調査の結果、トイレの利用時に、内側開ボタン押さない限り一定時間、扉が開かない構造となっており、退室時に内側の閉ボタンを押してしまうと、誰もいない状態でも、一定の時間、扉が開かない。このため、当面の対策として利用上の注意ポスターと緊急連絡先を掲示した。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、改修等を実施していく。	D
南千住東口ドナウ広場　多目的トイレ	１－③多目的トイレ故障時の連絡体制を整備します。				平成 25 年度完了	100%	トイレに緊急連絡先の掲示をすると共に、緊急連絡態勢を整備した。	A
都電荒川線三ノ輪橋駅　トイレ	１－①設置スペースの課題から、現状では設置は困難な状況にありますが、継続的に検討していきます。				平成 32 年度	30%程度	・改修レイアウト完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、改修等を実施していく。	D
都電荒川線三ノ輪橋駅　トイレ	１－②近くの公園には多目的トイレが設置されていますので、案内誘導の充実を検討します。				平成 25 年度完了	100%	・近隣の多目的トイレの位置が分かるように、子育て支援と協力し、区内トイレマップを作成した。また、これを「あらかわ子育てマップ」やＨＰで公開している。 ・全公園内にＱＲコード設置し、携帯やスマホで	A

							ＨＰにアクセスしやすい環境を整えた。 ・近隣の南千住第四児童遊園にＨ２２ 年度に整備した多目的トイレがあるため、そちらまでの案内を掲示した。	

今後の取組方針
･建設が同時期の既存ストックの更新による予算の集中などに対応するため、一度に建替えや全面改修が困難なことから、取組方針を踏まえ、次年度以降は、他の有効既存資産の活かした低コストで実施可能なソフトの提供やＬＣＣの低減に対応した部分改修を実施する。 ･従来の事後的な修繕に代わり中長期的な計画に基づく予防保全型修繕へ転換することにより、施設の安全性の確保や修繕に要する費用の縮減、平準化を図る。 ･公衆･公園トイレについては、改修計画を策定し、トイレのバリアフリー化を図っていく。

東日暮里一丁目公園

瑞光公園

天王公園

特定事業進捗管理シート　（平成 28 年度）　熊野前駅周辺地区

●原公園、尾久小公園、熊野前公園、尾久八幡公園

取組の評価								
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
原公園 通路	１－①施設状況を確認のうえ手摺りの設置を検討します。				平成 27 年度完了	100%	・現地調査の結果、休息場所との段差はあるものの、スロープが設置されている。段差に手摺や柵等を設置すると、公園本体の利用制限が生じるため、段差の部分が認識しやすい舗装に改修した。	A
原公園 トイレ	２－①トイレの改修にあわせて多目的トイレの設置を検討します。				－	10%程度	・現地調査の結果、施設は全体的に健全に保たれており、当面、近隣の既存ストックを利用する考えとする。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、建替え等を実施していく。	D
原公園 トイレ	２－②多目的トイレが利用可能な近隣の公的施設への案内を検討します。				平成 26 年度完了	100%	・近隣公園のトイレの利用案内を掲示 ・近隣の多目的トイレの位置が分かるよう、子育て支援と協力し、区内トイレマップを作成した。また、これを「あらかわ子育てマップ」やＨＰで公開している。	A

							・全公園内にＱＲコード設置し、携帯やスマホでＨＰにアクセスしやすい環境を整えた。	
原公園 トイレ	３－①トイレの改修にあわせて利用者の意見や利用状況等を踏まえて便房数を検討します。				－	１０%程度	・現地調査の結果、施設は比較的新しく健全に保たれている。当面、近隣の既存ストックを利用する考えとする。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、建替え等を実施していく。	D
尾久小公園 出入口	１－①施設の改修時にあわせて公園入口の改善を検討します。				平成２５年度完了	１００%	公園施設の遊具等の改修に合わせて公道から１ルートは通行できるよう １か所の入口改修を実施した。	A
尾久小公園 園路	２－①施設の改修時にあわせて園内の段差解消やベンチの設置位置を検討します。				平成２５年度完了	１００%	・公園施設の遊具等の改修時に段差解消やベンチ位置を改善した。	A
尾久小公園 トイレ	３－①施設状況を確認のうえ案内誘導を検討します。				平成 32 年度	１０%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、建替え等を実施していく。	D
尾久小公園 トイレ	３－②トイレ改修の際、利用者の意見や利用状況を踏まえて、男女別の設置を検討します。				－	１０%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、建替え等を実施していく。	D
尾久小公園 トイレ	３－③施設の改修時にあわせて園内の段差解消を検討します。				平成２８年度完了	１００%	・改修済み	A

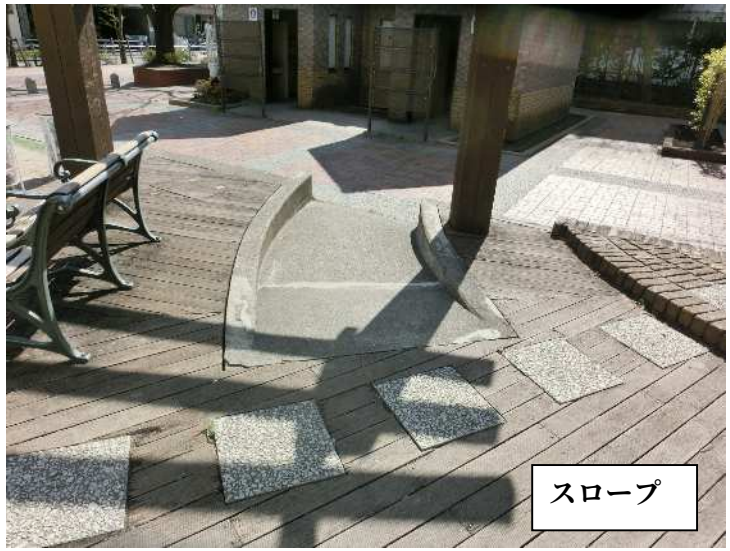
尾久小公園 トイレ	３－④安全で快適に使用できるよう毎日清掃は行っており、老朽化した設備は調査のうえ適切に対応します。				継続	100%	・継続実施中	B
熊野前公園 園路	１－①園路の段差について、施設状況を確認のうえ適切に対応します。				継続	100%	・現地調査から不良部分については修繕した。 ・不良部分が発生した場合には適宜修繕を施している。	A
熊野前公園 トイレ	２－①施設状況を確認のうえトイレ入口の改善を検討します。				平成 29 年度	10%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、改修等を実施していく。	D
熊野前公園 トイレ	２－②施設状況を確認のうえ案内誘導を検討します。				平成 29 年度	10%程度	・現地調査完了。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、改修等を実施していく。	D
熊野前公園 トイレ	２－③トイレ改修にあわせてバリアフリーに配慮した使用者空間の改善を図ります。				—	10%程度	・現地調査の結果、施設は全体的に健全に保たれており、当面、近隣の既存ストックを利用する考えとする。 ・公衆・公園トイレ改修計画を策定予定。その中で、改修等を実施していく。	D
熊野前公園 トイレ	２－④施設更新時に防災機能の導入について検討します。				—	10%程度	・現地調査完了。 ・所管部署と協議の上、次年度以降に予算化の検討をする。	D
尾久八幡公園 トイレ	１－①トイレ改修の際、利用者の意見や利用状況を踏まえて、男女別の				—	10%程度	・現地調査の結果、施設は全体的に健全に保たれ	D

	設置を検討します。トイレ改修にあわせてバリアフリーに対応した施設内容を検討します。						ており、当面、近隣の既存ストックを利用する考えとする。	
尾久八幡公園トイレ	１－②トイレ内の設備について施設状況を確認のうえ適切に対応します。				平成 25年度完了	100%	・フックを設置した。	A

今後の取組方針
･建設が同時期の既存ストックの更新による予算の集中などに対応するため、一度に建替えや全面改修が困難なことから、取組方針を踏まえ、次年度以降は、他の有効既存資産の活かした低コストで実施可能なソフトの提供やＬＣＣの低減に対応した部分改修を実施する。 ･従来の事後的な修繕に代わり中長期的な計画に基づく予防保全型修繕へ転換することにより、施設の安全性の確保や修繕に要する費用の縮減、平準化を図る。 ･公衆･公園トイレについては、改修計画を策定しトイレのバリアフリー化を図っていく。

原公園

トイレ案内表示


スロープ

スロープ

尾久小公園

入口改修

園路・ベンチ改修

尾久八幡公園

フック設置

段差の解消

交通安全特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　町屋駅・区役所周辺地区

交通管理者

担当部署	警視庁荒川警察署
取組方針（目的）	*交通マナー及び道路の安全性の向上を推進する。*

※評価値　凡例
A:　100％（実績進捗率）　C:50～70％
B:　70～90％　D:50％以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都道 306 号線（明治通り）	①信号機の時間の長短について検証し、長くする必要性がある場所については、本部管制課と協議し、継続的に検討します。				継続	100％	サンパール荒川前のサイクル変更及び荒川３丁目に右折矢印設置（H27.2月実施）	A
都道 306 号線（明治通り）	②荒川警察署前の交差点では、引き続き警察官の随時配置（AM7：30～PM5：30）を実施し、信号の変わり目に走行している車、横断している自転車、歩行者に対し警笛を活用して注意喚起を行います。				継続	100％	月ごとに配置時間を検討しつつ、ランダムに実施している。	A
都道 306 号線（明治通り）	③荒川警察署前の交差点の自転車横断帯の幅については、本部と協議し、拡張を検討します。				継続	100％	交差点の構造上現状のまま残すこととします。	A
都道 306 号線（明治通り）	④荒川警察署前の交差点は、自転車のルール違反が多く、自転車事故が増加していることから引き続き交通切符を切って取締りを実施します。				継続	100％	毎月取締を実施している。特に雨天時には「傘さし禁止広報」をミニパトにて実施している。	A
都道 306 号線（明治通り）	⑤荒川区役所付近の乱横断対策として横断歩道の設置の必要性を検討し、必要と判断したら設置の上申を行います。				継続	100％	荒川区役所前に横断防止柵を設置。	A
都道 306 号線（明治通り）	⑥信号無視に対しては、引き続き自転車安全教室、自転車ストップ作戦を実施し、自転車マナーの向上に努				継続	100％	署内連係して安全教室やストップ作戦を随時実施している。	A

	めます。							
都道 313 号線 (尾竹橋通り)	⑦宮地陸橋交差点の右折車用補助信号設置については、現場実査を行い、設置の必要性を検討します。				継続	100%	実査を行い検討した結果、現状のままで設置の必要なし。	A
都道 313 号線 (尾竹橋通り)	⑧赤信号無視車両は、積極的に取締りを実施します。なお、毎月 1 回、町会長による街頭配置を行っています。				継続	100%	署内連係して毎月取締及び警告指導を実施している。また、毎月１回交通安全日に町会役員の交通配置を実施している。	A
区道 荒 42 号線 (サンパール通り)	⑨サンパール通りでは、特に高齢者が横断歩道のないところで横断しており、重大事故につながっていることから、引き続き現場で口頭注意を行います。				継続	100%	署内連係して口頭注意を実施している。月１回高齢者への自転車乗車マナー指導を実施している。	A
区道 荒 97・116 号線 (藍染川通り)	⑩町屋斎場付近の交差点については、横断者の有無と横断歩道の設置の必要性について検証を行います。必要性があれば設置の上申を行います。				平成２７年度完了	100%	藍染川通りの町屋ふれあい館入口に横断歩道を設置。（H27.9 月実施）	A

今後の取組方針
取組の効果が着実に現れていることから、次年度以降も継続した取組を実施する。

交通安全特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区

担当部署	警視庁荒川警察署
取組方針（目的）	*交通マナー及び道路の安全性の向上を推進する。*

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
都道 457 号線（駒込宮地線）	１－①幹線道路の信号機は、全て集中制御方式になっており、一部の信号サイクルを変更するには、その周辺の信号サイクルも変更しなければならない状況です。今後周辺道路への影響などを考慮しながら、青時間延長などについて検討を進めます。		―	―	継続	100%	継続的に検討し、必要があれば随時健康等対応します。	A
都道 313 号線（尾竹橋通り）	２－①音響式信号の音が聞きづらい箇所について、ボリューム調整を行います。	―			完了	100%	三河島駅前のボリューム調整を実施済。	A
都道放射 11 号線（尾久橋通り）	３－①幹線道路の信号機は、全て集中制御方式になっており、一部の信号サイクルを変更するには、その周辺の信号サイクルも変更しなければならない状況です。今後周辺道路への影響などを考慮しながら、青時間延長などについて検討を進めます。		―	―	継続	１００%	継続的に検討し、必要があれば随時健康等対応します。	A

今後の取組方針

継続して進める

交通安全特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

担当部署	警視庁南千住警察署
取組方針（目的）	*例）交通マナー及び道路の安全性の向上を推進する。*

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
国道４号	１－①幹線道路の信号機は、全て集中制御式信号になっており、一部の信号サイクルを変更するには、その周辺の信号サイクルも変更しなければならない状況です。今後周辺道路への影響などを考慮しながら青時間の延長などについて検討を進めます。				平成２８年度完了	１００%	音響式信号機を現在３ヶ所設置、天王神社前交差点、南千住一丁目交差点、南千住五丁目交差点	A
都道４６４号	２－①幹線道路の信号機は、全て集中制御式信号になっており、一部の信号サイクルを変更するには、その周辺の信号サイクルも変更しなければならない状況です。今後周辺道路への影響などを考慮しながら青時間の延長などについて検討を進めます。				平成２８年度完了	１００%	南千住三丁目西交差点、南千住三丁目交差点の信号サイクルの変更を実施した。	A

今後の取組方針

継続して進める

交通安全特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　熊野前駅周辺地区

担当部署	警視庁尾久警察署
取組方針（目的）	*交通マナー及び道路の安全性の向上を推進する。*

※評価値　凡例
A:　100%（実績進捗率）　C:50～70%
B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
熊野前交差点	１－①路面電車の軌道でエスコートゾーンがとぎれている箇所について、道路管理者、東京都交通局と検討します。				継続	50%	警察・道路管理者・鉄道の３者にて実査し、設置に向け協議中（交差点形状の再確認と軌道敷内の施工の可否の確認中）	C
熊野前交差点	１－②駅前の交差点付近に敷設されている滑りやすい点字ブロックについて、道路管理者と検討します。				継続	40%	警察・道路管理者・鉄道の３者にて実査し、形状の最終決定時に設置できるよう協議中（交差点形状が当初案からの変更が考えられる、状況に合わせる）	D
熊野前交差点	１－③交通マナーの向上について今までと同様に継続的に指導・教育活動を実施します。				継続	100%	交通指導取締り、小学校等への安全教育、各種キャンペーンを実施中	A
電停周辺交差点	２－①都電荒川線の電停にアクセスするする横断歩道へのエスコートゾーン設置について、道路管理者及び東京都交通局と検討します。				継続	40%	警察・道路管理者・鉄道の３者にて実査し、設置基準等も含め協議中（改めて協議中）	D

今後の取組方針

継続して実施する

公共施設（建築物等）特定事業進捗管理シート　（平成２８年度）　南千住駅周辺地区

施設管理者（荒川区）

●南千住西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）

担当部署	荒川区　区民生活部地域振興課	
取組方針（目的）	*高齢者や障がい者、親子など、すべての人が快適に施設を利用できるよう改善を図る。*	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）通路	1-①看板やいすが点字ブロックの障害とならないように管理組合に対し、適切な管理を依頼します。		▬		平成 26 年度完了	100%	管理組合を通して、当該店舗に対し、対応依頼済み。	A
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）案内	2-①管理組合に対し、サインの充実を依頼します。職員による案内をおこないます。		▬		継続	—	検討の結果現状維持するが、常に利用者の意見を反映し、管理組合と検討していく。	A
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）エスカレーター・エレベーター	3-①管理組合に対し、既存のエレベーターやエスカレーターへのサインの充実を依頼します。		▬		継続	—	検討の結果現状維持するが、常に利用者の意見を反映し、管理組合と検討していく。	A
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）エスカレーター・エレベーター	3-②管理組合にエレベーター内の表示の位置が見やすい場所への移動を依頼します。		▬		継続	—	検討の結果現状維持するが、常に利用者の意見を反映し、管理組合と検討していく。	A
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）点字ブロック	4-①点字ブロックの設置について検討するとともに、職員による案内をおこないます。		▬		平成 30 年度	50%程度	現在は職員による案内で対応しているが、今後利用者の声を集約した上で、管理組合と検討していく。	C

西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）トイレ	5-①自動扉に改修を検討していきます。				平成 30 年度	50%程度	引き続き、利用者の声を集約上で、管理組合と検討していく。	C
西口再開発ビル（南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館）トイレ	5-②管理組合に対し、サインの充実を依頼します。				平成 30 年度	50%程度	現在は職員による案内で対応しているが、今後利用者の声を集約した上で、管理組合と検討していく。	C

今後の取組方針

・取組方針を踏まえ、利用者の声を参考に管理組合に要望を申し入れる。
・複合施設の供用部分に関する内容が多いため、施設の修繕計画に盛り込んでもらうよう検討を依頼する。

●南千住ふれあい館、東日暮里ふれあい館

担当部署	荒川区　区民生活部地域振興課	
取組方針（目的）	*高齢者や障がい者、親子など、すべての人が快適にふれあい館を利用できるように施設の改善を図る。*	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

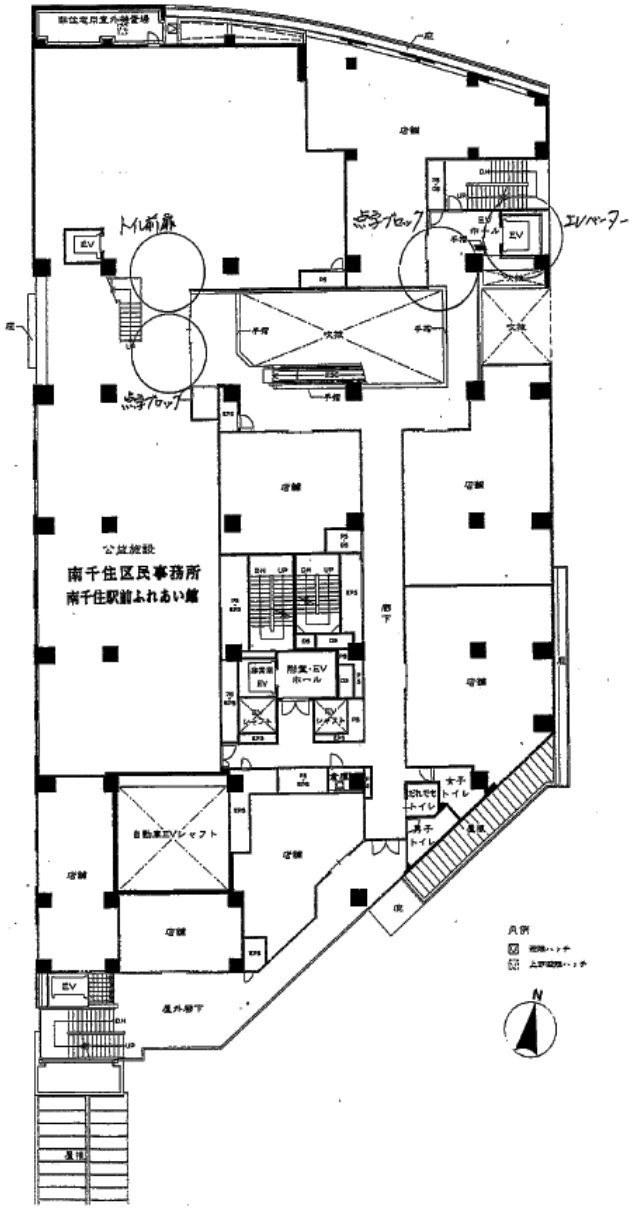
取組の評価

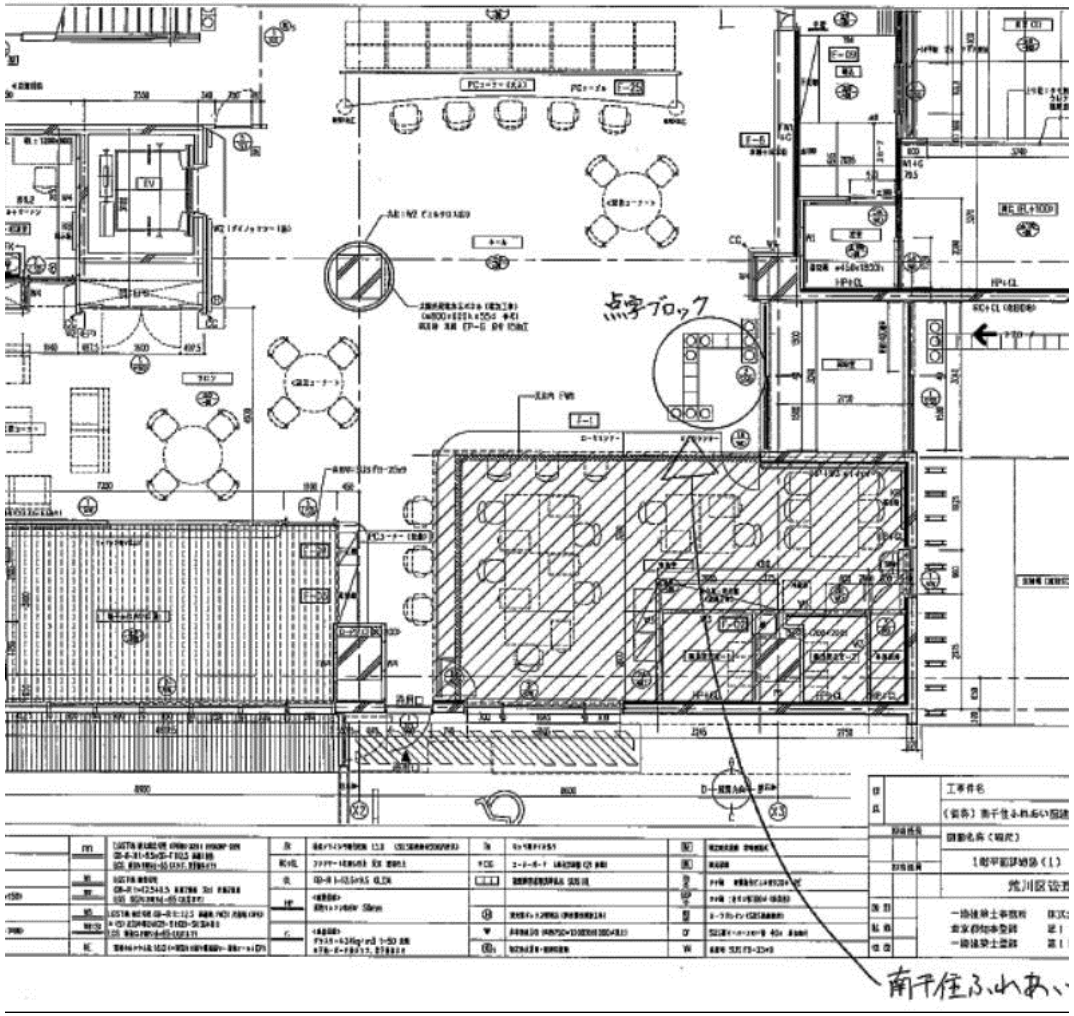
取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
南千住ふれあい館 点字ブロック	1-①施設内に点字ブロック、点字案内板の設置を検討するとともに、職員による案内を行います。		■		平成30年度	70%程度	点字ブロックについては設置基準を満たしており、今後利用者の要望を踏まえ、案内板の設置を検討する。	B
東日暮里ふれあい館 通路	1-①都住宅局（現都市整備局、都住宅供給公社）と協議し、入口スロープの勾配を改修できるか検討します。			■	継続	30%程度	引き続き、都住宅局（現都市整備局、都住宅供給公社）に対し、改善を依頼する。	D
東日暮里ふれあい館 トイレ	2-①水洗ボタンについて、適切な位置に改修していきます。		■		平成26年度完了	100%	利用者からも現状維持で良いとの声が多数あり、現状維持とした。	A
東日暮里ふれあい館 トイレ	2-②子供用便座の置き場所について、使いやすい位置への改善をおこなっていきます。	■			平成26年度完了	100%	利用者からも現状維持で良いとの声が多数あり、現状維持とした。	A

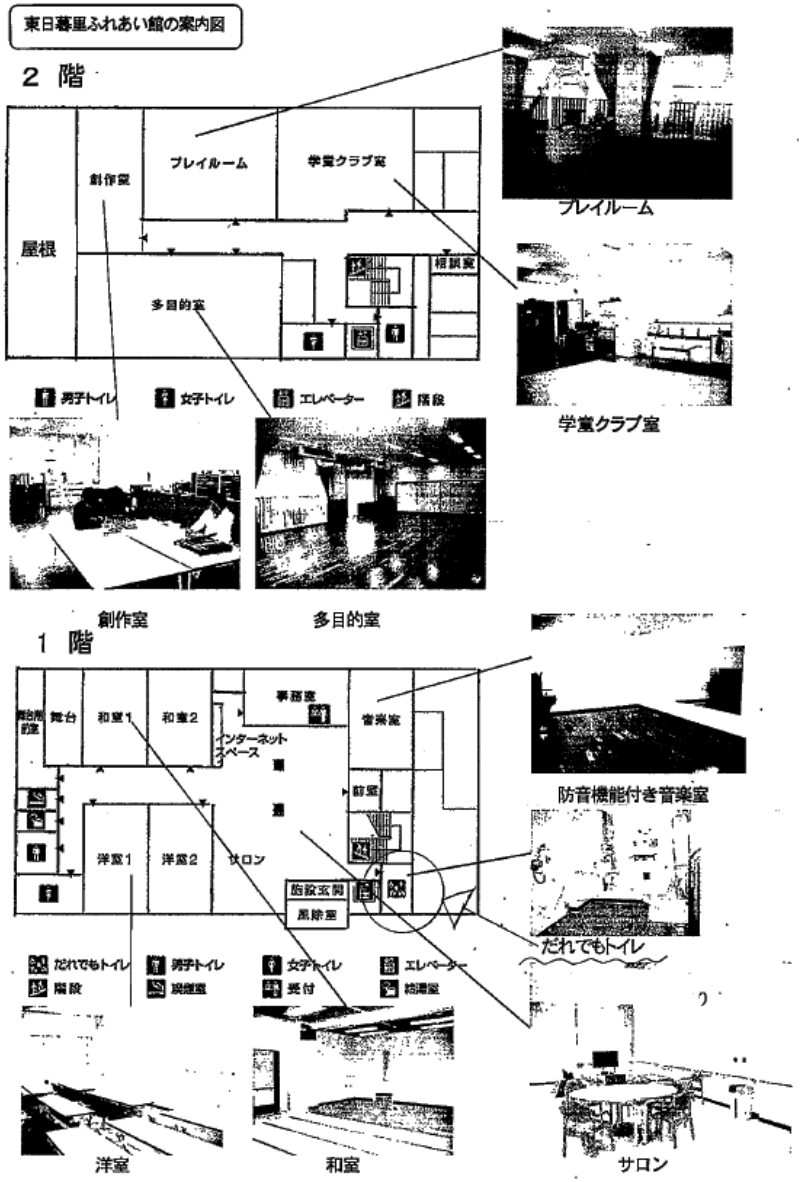
今後の取組方針

・取組方針を踏まえ、利用者の要望を参考に関係部署等と相談を進める。
・実施が困難な取組みについては、施設の改修計画に反映できるよう当該部署に申入れを行う。

西口再開発ビル


トイレ前廊
点字ブロック
エレベーター
公益施設
南千住区民事務所
南千住駅前ふれあい館
廊下
自動車EVシャフト
屋外廊下
屋根
凡例
N


点字ブロック
南千住ふれあい


東日暮里ふれあい館の案内図
2 階
屋根
創作室
プレイルーム
学童クラブ室
相談室
多目的室
男子トイレ
女子トイレ
エレベーター
階段
プレイルーム
学童クラブ室
創作室
多目的室
1 階
舞台
和室1
和室2
事務室
音楽室
インターネットスペース
前室
洋室1
洋室2
サロン
施設玄関
風除室
だれでもトイレ
男子トイレ
女子トイレ
エレベーター
階段
洗面室
受付
給湯室
防音機能付き音楽室
だれでもトイレ
洋室
和室
サロン

●荒川総合スポーツセンター

担当部署	荒川区地域文化スポーツ部スポーツ振興課	
取組方針（目的）	*高齢者や障がい者も利用しやすく、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境の整備を図る。*	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
荒川総合スポーツセンター　トイレ	１－①車いす利用者でも使いやすい位置に改善を図ります。				31 年度	*10%程度*	スポーツセンターの大規模改修基本設計を作成中	*D*
荒川総合スポーツセンター　トイレ	１－②設備更新にあわせて、トイレの自動ドア化を検討します。				31 年度	*10%程度*	スポーツセンターの大規模改修基本設計を作成中	*D*
荒川総合スポーツセンター　トイレ	１－③設備更新にあわせて、トイレ照明の自動点灯化を検討します。				３１年度	*10%程度*	スポーツセンターの大規模改修基本設計を作成中	*D*
荒川総合スポーツセンター　トイレ	１－④障がい者等が優先されるトイレであることが分かるように、案内表示をします。				実施済み	*100%*	お手洗い入口及び該当の個室に表示をしている。	*A*

今後の取組方針

荒川総合スポーツセンターは平成 31 年度に大規模改修を予定しており、基本設計を作成中である。
上記の項目についても、大規模改修の基本設計の中で検討しているところである。

●南千住図書館・荒川ふるさと文化館

担当部署	荒川区　地域文化スポーツ部図書館課	
取組方針（目的）	*例）高齢者や障害者、親子での施設利用に対応するべく、ハードによる整備及び現在行っているソフト面での対応もさらに充実させていく。*	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
南千住図書館・荒川ふるさと文化館 トイレ	１－①電動車いすにも対応できるよう、施設更新にあわせてより使いやすい設備に改良していきます。			■	未定	０%	大規模修繕または改築の際に検討	D
南千住図書館・荒川ふるさと文化館 駐車場	２－①よりスムーズに来館できるよう、予算を確保したうえで、駐車場入口の段差解消を図ります。		■		平成２９年度	0%	改善方法も含めて検討	D
南千住図書館・荒川ふるさと文化館 点字ブロック	２－②正面玄関前のアプローチは、通常は車両進入禁止エリアですが、障がい者施設の方が来館される際のみ、バスが入れるようにしています。今後は、バスを駐車する際に点字ブロックをふさがないよう、当該施設に伝えます。	■			継続	100%	バスを駐車する際に点字ブロックをふさがないように当該施設に伝えた。	A

今後の取組方針

・取組方針を踏まえ、次年度以降、駐車場の段差解消の実施を検討する。

●荒川区男女平等推進センター（アクト 21）

担当部署	荒川区　総務企画部　総務企画課	
取組方針（目的）	利用者の意見を、設備更新や案内といったサービスの向上に反映させ、バリアフリーを推進する。	※評価値　凡例 A:　100%（実績進捗率）　C:50～70% B:　70～90%　D:50%以下

取組の評価

取組内容（基本構想）		計画期間			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績（進捗率）	取組状況	評価値
アクト21　通路	1－①マガジンラック等を移動し手すりの連続性を確保します。	■			平成26年度完了	100%	マガジンラックを撤去し、手すりの連動性を確保	A
アクト21　多目的トイレ	2－①多目的トイレ設備更新時に利用者の意見を踏まえて、利用しやすい手すりについて検討します。		■	■	平成32年度	50%程度	設備更新時に利用者の意見を踏まえて、利用しやすい手すりについて検討	C
アクト21　多目的トイレ	2－②多目的トイレの場所が分かりやすいように、貼り紙などにより表示します。	■			平成26年度完了	100%	貼り紙による案内を作成し表示	A
アクト21　多目的トイレ	2－③多目的トイレ内のベビーベッドを使用したままにしないよう貼り紙などによる注意喚起を行います。	■			平成26年度完了	100%	貼り紙により注意喚起	A
アクト21　案内	3－①利用者の意見を踏まえ、施設内の案内表示について、分かりやすい表示に変更します。	■			平成29年度	80%程度	分かりやすい案内に変更。今後も継続的に検証し、改善を行う	B
アクト21 エレベーター	4－①エレベーター外での視覚障がい者への案内の改善方法について検討を行います。			■	平成32年度	50%程度	改善方法について検討を行う	C

今後の取組方針

・効果を検証しながら、次年度以降も継続した取組を実施する。
・中長期計画の取組については、取組方針を踏まえ検討する。